

場づくりメーカー募集!

場づくりメーカーは、ワークショップの小グループディスカッションにおいて、参加者が「討論」ではなく「対話的」になるような場づくり (ファシリテーション) をして頂きます。ファシリテーションは現代社会に必要な不可欠なスキルです。組織での問題解決や合意形成はもちろん、新しいことを学んだりこれまでにない考えを創造することにも貢献できます。初めてでも安心の事前研修会もありますので、奮ってご応募ください。

ワークショップ当日の流れ

下の **■** 部分で場づくりメーカーを担っていただきます。

Day 1 3月28日 [月]

1. 開会挨拶およびオープニングダイアログ (50分)
2. 昨年のワークショップの振り返り
 - パネルディスカッション (10分)
 - **小グループディスカッション (25分)**
 - 全体での共有 (10分)
 - 休憩10分 —
3. 昨年のワークショップからのあゆみ
 - パネルディスカッション (10分)
 - **小グループディスカッション (25分)**
 - 全体での共有 (10分)

Day 2 3月29日 [火]

4. 1日目の振り返り (15分)
5. 今の学校教育、今の社会について「なぜ (なんでやねん)」と思うこと
 - パネルディスカッション (30分)
 - **小グループディスカッション (30分)**
 - 全体での共有 (10分)
 - 休憩10分 —
6. より良い未来をつくるために
 - パネルディスカッション (30分)
 - **小グループディスカッション (30分)**
 - 全体での共有 (10分)
7. クロージング (15分)

場づくりメーカー研修会

場づくりメーカーに応募された方は、研修会に参加して頂きます。講師はコンフリクト (対立) が起きかねない現場で合意形成を図るなどファシリテーション経験豊富な山口覚さんです。

2日間の研修内容はそれぞれ異なりますので、両日とものお出席をおすすめします。

日時：3月18日 [金] 19:00-22:00

3月24日 [木] 19:00-22:00 (直前研修)

3/18 [金] 19:00- ガイダンス
19:40- アイスブレイク
20:00- 場づくりメーカーってなんだ?
20:15- 対話と討論
20:45- 場づくりメーカーの心得
21:00- 対話の練習
21:45- 振り返り
22:00 終了

3/24 [木] 19:00- ガイダンス
19:15- チームビルディング (互いを知る時間)
21:15- 休憩
21:30- 対話のルールのおさらい
21:50- 事務局連絡
22:00 終了

講師プロフィール



山口 覚 (やまぐち さとる)

慶津屋崎ブランチLLP 代表
LOCAL&DESIGN (株) 代表取締役
一般社団法人まち家族 代表
東明館中学校・高校 理事
慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授

福岡県生まれ。1993年、鹿島建設ランドスケープデザイン部入社。1999年、財団法人国土技術研究センターに転出。産炭地域や離島のまちづくりに携わり「対話」の重要性を知ることになる。2002年、NPO法人地域交流センターにて全国各地の地域づくりに携わる。2005年、自ら地方に身を置いて活動しようと福岡へUターン。2009年、福津市津屋崎の小さな海沿いの集落に移住。まちづくりの原点は対話だという信念のもと、「本物の暮らし・働き方・つながりを実現するプロジェクト」として住民同士や大人と子ども達の対話によるまちづくりを実践。また、学校現場、PTA、コミュニティスクール、集団スポーツ、議会、商工会議所、青年会議所、観光協会、自治体、自治会、農協など分野を問わず対話の導入を全国各地へ広げる活動を行っている。

〈執筆・監修〉●これからの会議・研修の作り方 (ベネッセ 雑誌VIEW21 高校版 2017.6、2017.8、2018.4、2018.6号を監修) ●「地方創生」地方からの目線 (2015 国土技術研究センター JICE REPORT vol.28) ●若い力を地域づくりに生かす (月間ガバナンス 2016.5号寄稿) ●未来への手紙〜津屋崎から (西日本新聞2018.1-2020.4、全24回 毎月第1土曜日九州版) ●新しいまちづくりの哲学〜津屋崎日記 (西日本新聞2011.1-2012.5、全50回 福岡県版)

※敬称略。プログラム内容は変更になる場合がございます。

場づくりメーカー応募方法

下のバナーをクリック、またはQRコードから登録フォームに進み、場づくりメーカーの欄からご応募ください。



2022年3月28日・29日 東京学芸大学・OECD共催 オンラインワークショップ



さんかく (三角・参画) で共に創り奏でるコレクティブインパクト
— レジリエンスのある未来を創るため、「守破離」をエコシステムで体験する —